

# メガソーラー「いちのみや」



## □概要

敷地面積	約8,700㎡(2,640坪) 植栽約230㎡(70坪)
発電出力	500KW
発電電力量	約50万KWh/年 (一般家庭約150世帯の年間使用量に相当)
CO2削減量	280t/年
主要設備	太陽光パネル:2,232枚(18直列×124並列) 取付傾斜角度:20° パワーコンディショナー:249KW×2台
太陽光パネル	多結晶 245W (外形寸法 1,665mm×991mm)
工期	着工:2012年10月 竣工:2013年3月
工事業者	基礎:上林建設(株)様 設備:パナソニックESファシリティエンジニアリング(株)様

## □電気の流れ



# 私たちが太陽光発電に取り組んだ趣旨

メガソーラー「いちのみや」にお越し頂き、誠にありがとうございます。

施設を案内させて頂く前に弊社が、本太陽光発電事業に取り組んだ「思い」を説明させていただきます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災による福島第1原発の事故により、同年5月5日に日本の全ての原子力発電所を止めることが決まりました。それから2年が経過した今日現在、関西電力の原子力発電所2基は稼働していますが、実に95%を火力発電所に頼っています。この状況が続けば、地球規模での温暖化は更に加速し、頻発する異常気象にこれからも不安な日々を過さなくてはなりません。

また、長い間日本の貿易収支は黒字でしたが、2012年～13年度は大きな赤字を計上するに至りました。このままLPG液化天然ガスを買いつけることは、もう台所事情が許さないと思います。原子力発電所は、安全で安い電気を作るはずでしたが、今回の事故で実は、この事がそうでなかった事が明白になりました。もう一度、福島のような事故が日本のどこかで起これば、この国はきっと滅びます。観光業に於いては、海外からのお客様が来られなくなり壊滅的な打撃を受けるでしょうし、私達が作っているような工業製品も買って頂けるお客様は無くなると思います。今すぐには、原子力発電所を止めることは出来ないと思いますが、原子力発電所の寿命とされる40年を過ぎたものは順次その役目を終えさせ、その間、火力発電でしのぎながら私達は自然エネルギーの研究開発に邁進しなければいけないと思います。

日本の科学技術には、素晴らしいものがあります。今は自然エネルギーの電気代は高くても、太陽光・風力・水力・地熱等の研究開発を続けていけば、元は原価の無いものですから、必ずや安いものが作りだせますし、安全性の確保もできます。液晶テレビの例をとってもわずか10年前には1台40～50万円したものが、今は4～5万円になっています。また、電電公社の固定電話が、携帯電話になり、スマートフォンになっていることを思えば、10年後には、高い志を持った日本の若い技術者が、世界に先駆けて、今の効率を2倍にも3倍にもしたソーラー開発をしてくれると信じています。

私達は、この事業の20年継続を想定し、少し丁寧すぎる施工を致しました。それは、きっと10年もたたないうちに今の2倍の効率のものが出てくると信じているからです。そして、その時にパネルだけを取り外して、効率の高いものに置き換えるつもりです。

繰り返しになりますが、私達は、若くて情熱を持った技術者が必ずや現れ、自然エネルギーの開発に力を注ぎ、危険性の高い原子力発電所を無くし、加えて、環境を破壊する火力発電所を極力少なくしてくれると考えています。

この事業に投資することで、今後の自然エネルギーの開発にたとえわずかでも貢献できればと社員が心をひとつに取り組みました。そして、実粟の大自然を守り育て次の世代へバトンを渡したいと思います。

どうか私達の思いをご理解頂き、ご支援の上、お見守り頂ければ幸甚です。

